

科目名			担当教員	
特講（地域と生活）			村田 周祐	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
AT1029	1	1	S (講義)	1年以上
生成 AI 利用レベル		試験（スクーリング含む） : C		

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2026 年度の開講後は 2028 年度開講予定です。

※受講希望者はスクーリング申込締切日までに履修登録とスクーリングの申込みが必要です。

## 科目の概要

### ■スクーリングで学んでほしいこと

この授業では、地域と生活をキーワードに、日本民俗学や村落社会学の学問観や社会観の獲得を目指します。人口減少社会やグローバル市場の最前線にある現代において、地域生活を再編していく人々の英知に接近します。本講義では、英雄ではなく、「普通の人々（私たち）」の日常に埋め込まれた「創造性」に接近することで、これまでとは異なる「世界の見え方」を獲得していくことを目的とします。

### ■到達目標

これまでとは異なる、もう一つの視点から地域・社会・世界を見ることができるようになる。

### ■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」を身につけてほしい。

### ■教科書・参考図書

#### 【教科書】

教科書は使いません。必要に応じて資料を配付します。

#### 【参考図書】

村田周祐著『空間紛争としての持続的スポーツツーリズム：持続的開発が語らない地域の生活誌』新曜社、2017 年

### ■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	あたりまえを疑う	社会科学の「発見」とは
2	なぜいま地域なのか①	福祉国家と地域
3	なぜいま地域なのか②	福祉社会と地域
4	暮らしのなかの生活保障①	暮らしを守るしくみ
5	暮らしのなかの生活保障②	住民組織と生活保障
6	暮らしのなかの生活保障③	住民組織の見取り図
7	人と自然の関係①	アクティブラーニング
8	人と自然の関係②	アクティブラーニング
9	スクーリング試験	

## ■講義の進め方

---

本講義は知識ではなく、もうひとつの社会観・世界観の獲得を目指します。そのため、具体的な事例の紹介やアクティブラーニングなど、体感・追体験する学習が中心となります。

## ■スクーリング 評価基準

---

スクーリング試験 100% (持込すべて可)

## ■スクーリング事前学習 (学習時間の目安: 5~10 時間)

---

「あたりまえ」ってなんだろうと、少し立ち止まって考えてみてください。

## ■スクーリング事後学習 (学習時間の目安: 20~25 時間)

---

講義を通して、考えたことや気になったことを調べてみてください。